

1 Webサイトの構築

1. 1 主 旨

在職者訓練においては、受講者のニーズに応じた多様で弾力的な内容をもつ教育訓練が求められている。

また、指導員にとっては、急速な技術革新に対応した在職者訓練（能力開発セミナー）用の教材の開発を進める必要がある。

教材開発する上での課題を解決するための一方策として、インターネット技術を活用した全国指導員の相互連携による知識・ノウハウ等を共有化することが重要であり、そのために以下の環境整備がある。

- ・ 逐次、情報を交換・蓄積し、確実に指導員間で共有できる環境
- ・ 共有する情報を参照しながら円滑に意見交換し、教材開発の作業ができる環境

この環境を整備することによって、次のような効果が期待できる。

- ・ インターネットを活用して訓練ニーズを吸い上げることにより、全国規模のニーズ動向が把握できる。
- ・ 専門分野に関する技術情報の収集・蓄積・共有化が容易となる。
- ・ 短期間に教材の共同開発、教材内容の精査・検討が可能となり、完成度の高い教材の開発ができる。
- ・ 教材、使用機器、指導上のノウハウ、受講者からの質問など、実施されたセミナーに関する情報を共有することが可能となる。
- ・ 教材の相互交換が容易となり、既存の訓練内容、教材等の更新、教材のバリエーションの拡大が可能となる。

そこで、プロジェクト研究「生涯職業能力開発体系に基づく在職者訓練に係る教材の新規開発及び普及促進並びに共有化の支援」において、World Wide Web（WWW）上に能力開発セミナーに係る教材情報の収集・蓄積・共有を図ることができるWebサイトを構築し、教材の確保と新規教材開発を促すための支援をする。

1. 2 平成11年度の検討内容

プロジェクト研究の初年度として以下の検討を行った。

- ・ Webサイトに求められる機能及び構築についての検討と基本設計
- ・ 生涯職業能力開発体系に基づく教材としての部品教材の検討
(各委員会の議題等については、システム内の「お知らせ」ページに記載)

成果物として、Webサイトの内容を収録する「教材開発及び共有化」システム（試作版）のCD-ROMと、その操作手順書（本書）を作成した。

1. 3 今後の方針

このWebサイトを活用して、教材の確保と新規教材開発を促すための支援と、生涯職業能力開発体系との連携を考慮した部品教材の整備について検討する。

また試行運用を行い、このWebサイトの改善及び運用・管理方法等について検討する。